



\\ みんなの健康を守る \\
中野区医師会

◀ワクチンの集団接種会場にもなった
中野区医師会館(中野2-27-17)

「中野区医師会」をご存じですか。区内の医師約420人が会員で、私たちの健康を支えるさまざまな事業を行っています。新型コロナウイルス感染症の拡大下では、中心となってPCR検査やワクチン接種を推進。今号では、その様子や今後について聞きました。



中野区医師会
宇野副会長

当初は手探りで対応

2020年、新型コロナウイルス感染症が広がってきた当初は、どう対応したらよいか分からず、手探りの状態でした。中野区医師会では保健所や区内の病院と連絡を取り合い、各診療所に消毒剤などを分配したり、発熱患者の対応マニュアルを作ったりしましたね。毎日国や都から山のように通知が届いて、必要な情報の取捨選択に追われました。

同年4月に区と連携してPCR検査センターを立ち上げました。協力医を募ったところ、予想を超える約50人もの医師会員が手を挙げてくれたんです。防

護服の着方などを講習会やビデオで練習し、参加医師の感染対策を徹底。区内には当時検査のできる場所が少なく、それを少しでも早く用意しなくてはという思いでしたね。

刻々と変わる状況に対応するため、相談や連絡を密に行い、区との連携がより深まったと感じます。

**多くの医師の協力で迅速に進んだ
新型コロナのワクチン接種**

昨年4月からは、多くの医師・薬剤師の協力でワクチンの集団接種を開始。また、146か所の診療所に協力してもらい、個別接種も同時にスタートしました。私の診療所でも、多い時は一日50人以上接種。かかりつけ医での接種は、特に高齢の方には安心してもらえたと思います。

3回目接種が始まっています。引き続き、希望者に迅速に接種できるよう、

体制を整えていきます。

昨年夏の危機を教訓に

昨年夏には感染者が急増し、入院できない方が多くいました。自宅療養者を支援するため、中野区医師会では保健所や薬剤師会とともに電話診療や往診などの体制を整備。その体制に従って電話診療を行い、必要に応じて薬剤師が薬を届けるなど、協力して支援に当たりました。

新型コロナは突然容体が急変することがあり、早期に検査して、早期に対応することが大切です。感染が再拡大している今こそ、これまでの経験を教訓にして対応しなければなりません。

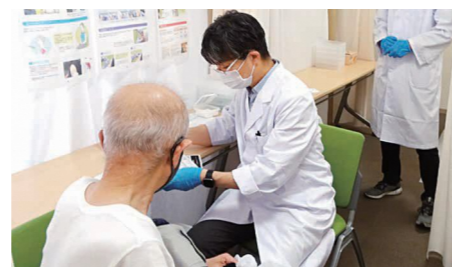
中野区医師会は団結力があり、熱心な医師が多いのが特徴です。医師だけでなくさまざまな職種の人と、地域のみさんの健康を守るというゴールを目指して今後も連携していきます。



▲医師会と区が連携して設置したPCR検査センター



▲中野区医師会館での集団接種の様子



▲ワクチンの集団接種は多くの医師が自身の診療所の休診日などに協力

赤ちゃんから高齢者まで 地域の健康を守るために

中野区医師会の事業を紹介

知識を深める

区民向けの講演会や医療・介護・福祉分野の従事者向けの研修会などを開催。



▲その他、医師会員のための勉強会を年70~80回開催

子どもの健康を守る

保育園や幼稚園、小・中学校、高等学校へ医師を派遣。「中野区準夜間子ども救急診療」の開設。



▲中野区医師会館で定期的に親子向けのイベントなども実施(現在は休止中)

安心して住み続けられる地域に

介護認定審査会などへ医師を派遣。在宅難病患者の方への訪問診療や休日診療の実施など。



▲防災訓練にも参加。災害時には区内の拠点医療救護所で活動します

病気を予防し健やかに

会社・事業所へ産業医を派遣。予防接種や区民健診の実施。



▲年1回は健康チェックを(写真はイメージです)

会長からのメッセージ

みなさんから愛される身近な医師会に

中野区医師会は、上記のように幅広くみなさんの健康を支える事業を行っています。

大きな目標は、みなさん全員にかかりつけ医を持ってもらうこと。身近な医師を通して、必要に応じて福祉や介護などの他の機関とつながり、年をとっても安心して地域で暮らし続けられる支え合う社会を目指しています。かかりつけ医には、体調の変化や生活のことなど、何でも気軽に相談してほしいです。

今後は認知症対策や食事・栄養についての講座などの健康教育にも力を入れていきたいですね。

中野区医師会の事業についての問合せ

中野区医師会事務局
☎(3384) 1335



中野区医師会
渡邊会長

会長に聞く

冬の健康づくりのポイント

①感染症予防の基本は「手洗い・マスク・予防接種」

みなさん実践していると思いますが、感染症予防の基本は手洗いとマスクです。それに加えて、インフルエンザの予防接種は毎年受けてほしいですね。



②元気な体づくりには「しっかり食べて、適度な運動」

栄養を取って体を動かすことが健康の基礎。具合が悪い時は早めにかかりつけ医に相談を。

